

SSKW 働こう障害者も 働けるんだオしたちも

こぶしだより

企画：社会福祉法人 こぶしの会 責任者：藤田 勝春 編集責任者：鈴木 順子
編集：こぶし作業所 (〒321-0902) 宇都宮市柳田町1401番地



高収入めざしてがんばるぞ！ (セルプ・みらい 弁当班)

特集

地域に羽ばたく砦になつて
— 第2けやき作業所認可成る —

No.278



～ 目 次 ～

- ① 特集..... 2～3 P
- ② こぶし作業所のページ..... 4 P
- ③ けやき作業所のページ..... 5 P
- ④ サポートセンターのページ..... 6 P
- ⑤ セルプ・みらいのページ..... 7 P

地域に羽ばたく砦になって — 第2けやき作業所認可成る —

内示がおりました

四月二三日(金)、栃木県健康増進課の担当官より、「四月一日に遡って内示がおりました」との電話がありました。昨年からの栃木県と協議を続けてきた第2けやき作業所の法内施設への協議に、国が認可を認めたのです。

法内化への厳しい状況は、ごぶしごぶしで何度か報告しました。行政も「博打みたいなものです」というように、職員一同「今年の認可はあきらめよう」と言い聞かせ、このころの片隅に小さな奇跡を願って毎日過ぎしてきた状況です。

気持ちの持ちようはこんな具合ですが、実際の活動は粘り強く、目に見える活動を続けて来ました。精神

障害者をめぐる差別的な状況を伝え、少しでもメンバーと職員の未

来が見通せるような法内化の意義を話し合い、全国の集会に職員と虹の会(自治会)で共同し参加してきました。

現実に精神障害者の地域生活を支えているのは第2けやき作業所のような多くの無認可作業所です。無認可に働く職員は、夜、アルバイトをして生計を維持している方もいるほど貧困な実態があります。二年前に設置した地域生活支援センターの活動のおかげで、第2けやきは三〇名を超える登録者となり、職員が悲鳴をあげる毎日が続きました。けやき作業所のバックアップも限界でした。

[無認可施設の厳しさ]

	補助金額	職員配置	利用者の定員
小規模共同作業所事業 (県単独補助)	国 : 99万円 県 : 350万円 郡 : 90万円 合計 : 約539万円	臨時職員 2名	19人以内
授産施設 (国の法内施設・第2種社会福祉事業)	国・県 : 約2,600万円 (無認可の≒5倍)	施設長 精神保健福祉士 社会復帰指導員(3名) 事務員 以上、全て正規職員 作業療法士(臨時)	20人以上

① 特集

こぶしの歴史に恥じないように

そんな中での吉報に職員・メンバー一同歓喜でどよめきました。四月一日から既に国基準の職員配置をしましてだったので、やっと不安の毎日から開放されました。平成一二年七月、関係者の心配が渦巻く中で第2けやき作業所が無認可で発足して早四年になろうとしています。短くはあれ実績が評価されたのでしょうか。それとも、関東地域には精神関連の社会復帰施設がほとんど存在していなかったからでしょうか。芳賀町が小学校跡地を提供していただくなど全面的にバックアップ



認可を喜ぶ第2けやき作業所の職員たち

していただいたからでしょうか。それとも、三〇年のこぶしの先輩たちの歴史が放つ信頼感があったからでしょうか。期待に背かないようがんばりたいと思います。

精神障害の分野は「第2けやき作業所は授産施設」などと割り切られていません。精神障害者の地域生活を支えるさまざまな支援が求められています。たった今しかない精神に障害を持つみなさんの人生を、多くの人々の共同の力で輝くものにしていきたいと思えます。今後ともご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



第2けやき作業所の作業
(ダンボール製品の組立)



廃校利用の第2けやき作業所

こぶし作業所ニュース

今年度の自治会の部会活動の紹介をします。今年度は全員の利用者が部会に所属することになり、利用者一人ひとりに希望を取って決めました。

< 喫茶部 >

喫茶部は部長の亀田さんと副部長の木村さんを中心として月・水・金曜日のお昼にコーヒーを販売しています。今年度は部員10名(亀田さん、木村さん、高島さん、佐々木さん、福田さん、岸さん、滝口さん、鬼頭さん、森下さん、吉永さん)と人数が多く、人気NO.1の部会になりました。お客さん一人ひとりの好み(ブラック・ミルクのみ・砂糖とミルクなど)が違うので覚えるのがとても大変ですが「おいしかった」の言葉をひとつももらうために日々頑張っています。

亀田部長はコーヒーやミルクの在庫管理も職員と一緒にしていて、業者への電話注文や商品引取りまで行い、意欲的に取り組んでいます。さすが部長ですね。

今、ちょっと大変なのは、休み時間内にカップ洗いも含めて片付けまでを全部終わらせることです。でもそれも部会の中でコーヒーを入れる係り・配る係り・洗う係りと細かく当番を決めて何とかやっています。

みなさんも一度こぶし喫茶部のコーヒーを飲みに来てみてください。

< レクリエーション部 >

今年度のレク部は、池田さん・新田さん・牛丸さん・小池さん・鶴野さん・天谷さんの6人の部員で構成されています。

大先輩の池田さんが中心となって話し合いを進めています。第1回目の部会では、話し合いの結果、部長は新田さん、副部長は池田さんに決まりました。活動内容として利用者から出されたものは、昨年度レク部で取り組んだ、旅行時の宴会をまた企画・実行したいということと、忘年会もしくは新年会を企画したいとのことでした。

昨年度から誕生会を行わなくなったことで部会活動が滞りがちですが、今年度は活発な活動をしていきたいとみんなで確認し合いました。

今年はずっともっと楽しい企画を作っていくつもりです。ご期待ください!

< 衛生環境部 >

総勢11人の部会です。食後の台拭きをしたり、木曜日には利用者に1杯10円で紅茶などを提供しています。部長の野中さんの呼びかけで、見目さん・星野さん・井沢さん・阿部さん・大木さんが台拭きを行っています。野沢さん・飯野さん・山崎さん・野口さん・関根さんは木曜日のお茶の日に、カップにお茶を注ぎお客様(お茶券を出した利用者)にお茶を運ぶ役割で、片付けも行っています。

ここまでの活動は以前の「衛生部」と同じです。では、なぜ「衛生環境部」と名が改められたのかと言いますと…こぶしをキレイに飾る花を育てようという話があったからなのです。何の植物を育てようか、みんなで考えているところです。

また、木曜日のお茶も何のお茶にしようか、もっともっと考えてお客さんを増やしたいと思っています。

けやき作業所

「ポーナナス交渉」夏・冬の取り組み③

三回シリーズにて「けやき作業所と第二けやき作業所の自治会ポーナナス交渉の話」をさせていたのですが、今回で最終回となります。第一回は「けやき作業所自治会の平成一五年年度のポーナナス交渉の流れにおいて職員側からは、賃金を上げるメンバー自身の自己努力と賃上げの方法を職員と相談しながら集団としてどのように取り組んで来たか、第二回目は第二けやき作業所自治会「虹の会」がポーナナス交渉の中で「自分たちの要求・発言に責任を持つ」という自己責任を利用者がお互い考へて半年の間に生産を倍増し、賃上げ実現に向けて取り組んだことを書かせていただきました。今回は「けやき作業所自治会から仲間同士の団結を築いていく」の取り組みを書いていきたいと思います。

緊急集会の冒頭に所長より「夏の時と同じで下請け班は赤字ですので支払いません」という回答が出され、第二けやき作業所メンバーの努力を報告しながら「なぜ下請け班・石けん班の赤字が解消できなかったのか」ということを下請け班班長・担当職員に尋ねてきました。下請け班班長は「職員一人だけ会社回りをしていたって変わらなかった」と下請け担当職員は「解消できなかったのは私の責任です」とほか他人言ったのかも知れません。と仲間たちを潤ませながら謝りました。また石けん班班長からは「担当職員が退職されて次の担当が決まらず営業等動きだしても動けない状況で、売上を上げるといわれてもできない。無理だ」という発言もありました。パン班職員にも発言を求められ「自分が担当している所で精一杯で他の部署にまで目が回らなかった」と話しました。所長から厳しい発言もあり利用者の中には泣き出す方もいました。ただその中で自治会役員から「今回はパンの売上が上がっているのだから下請けの人たちにもパンの売上を支持してほしい」と訴えがあり、パン班の売上からポーナナスを支払うよう提案されました。所長がパン班班長に対して「ポーナナスを出すのにパンで稼いだお

金を使いますがパン班の班長はどうですか?」の問いに「昨年夏の自治会の全体会で下請けの利用者から「こんなに給料をもらっているんだ」とシヨックを受けました。自治会の話し合いには参加してはいたがW班長が「同じ人間としてポーナナスを出して下さい」という感動的な発言があり所長より「夏と冬の違いを各一ヶ月分します」という回答が出ました。最後にN会長より「パン班はいつも朝早くから仕事しているから自分たちより多くポーナナスを出してほしい」という訴えがあり互いの努力をたたえあつ話し合いになりました。

緊急集会后、特に自治会会長の中では「今年度は赤字なのだから交渉しても無理、出ない」というあきらめがありましたが仲間同士の励ましの中でポーナナスを勝ち取ったことは自治会として誇れることです。またこれまで「利用者主体の活動を」と職員にも問われてきましたが、作業の場面はどうしても職員主導で活動・作業が行われてきました。今年度は自分たちの利用者に責任をもち主体的に活動するために利用者と一緒に何でも話し合いながら進めていきたいと思います。また、作業の選択制・事業部制を導入するために、七月からの本格的実施にあたり四月から自分の選んだ作業班で実習の形で試験的に従事しています。また、毎月企画販売会議を利用者と職員で開催し、そこで「学習 毎月の収支報告、作業の現状と対策、新製品の発表等」を議題に話し合っています。昨年より成長した利用者たちが活躍する今年のポーナナス交渉が楽しみです。



ポーナナス交渉について議論する自治会の皆さん

<自治会選挙>

4月22日(木)、けやき作業所自治会選挙が開催されました。自治会長直井信也氏、副会長：佐々木由美氏、会計：那花靖夫氏・見目アイ子氏、書記：田中好光氏・豊田耕正氏



国会請願に参加!

4月21日(水)に開催された第27次国会請願行動に参加しました。書名を受け取ってもらった水沼さん。(写真左：道明宏次さん、右下：直井信也さん)



➡ 4月17日(土)、けやき作業所にて、習字教室が開催されました。講師 鶯飼英雄氏のもと習字に取り組みました。(写真 津村友美さん)

◀ 4月10日(日)、天平の丘公園にて花見を開催しました。天気も良く、桜の下で楽しい一時を過ごしました。



今月のホリデー

県東ライフサポートセンターだより

ほっとCHA

5月の心地よい風と日差しの中、ゆっくりと背伸びしてみませんか?
きっと、心も身体も軽やかになるような気分になれるですよ!

世の中がGWと騒いでいるなか、ほっとCHAでも「ささやかな楽しみを」とメンバーとともに中華料理作りに挑戦しました。当日のメニューは「ご飯に中華スープ、ぎょうざ」。手をくさくしながらも二つとんにくたつぷりの具を作り、そしてメンバーとともに包む作業へ。初めて包むメンバーもいましたが教えあい一五〇個のぎょうざが完成!

形は不揃いでしたがメンバー一人ひとりの個性が光るぎょうざとスープに舌鼓。「クルシイ」の音が聞かれるほどお腹いっぱいになりました。

今回参加したメンバーからは、「包むのは楽しかったけど、焼くのが意外に難しいね」

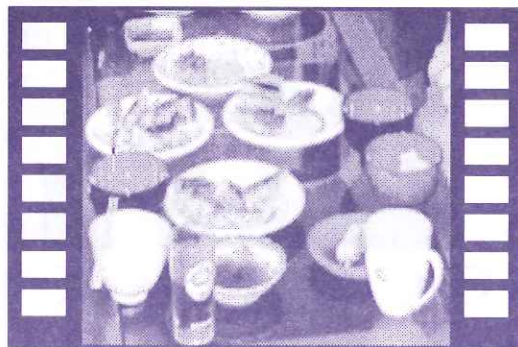
中華料理に挑戦!

「お腹いっぱい」

「おいしかった」「人数的に今回ぐらいが限界かなあ」「みんなでご飯を食べるのは楽しいですね」などたくさんさんの声を頂きました。果たして次回のぎょうざ作りは実現するのか?メンバーとともにスタッフの料理の腕もあがるようおいしいものを作りたいですね。



写真コーナー



「ぎょうざ」

新任職員紹介

上野 健 二

五月から新しい職員が加わりました。
真岡生まれ真岡育ちの二三歳です。自然とスポーツが大好きで、マラソン・スイミング・サッカー・卓球・バイクなど、はば広くいろんなことをします。みなさんと楽しい活動をしていきたいなあと思っています。どうぞよろしくお願いします。

ヒーフル

芳賀町シルバー人材センターは、サポートセンターと同じ廃校校舎にあり、シルバーさんは、校舎前の草取りをしてくださるなど、私たちを暖かく見守ってくださいる団体です。

早いもので、シルバー人材センターの仕事に就いて一三年目に入りました。地域の皆さんや会員の方に助けられ、感謝の毎日です。

センターは、高齢者の方に働くことにより生きがいを持ってもらおうという趣旨で設立された公益法人で、

国や町の補助金、就業先から戴く事務費で運営しています。

おおむね六〇歳以上で、働く意欲のある方ならだれでも入会でき、四月現在二〇六名の会員が生き生きと活動しています。

「今日も一日有り難う、楽しかったよ」の言葉を楽しみに仕事をしています。これも仕事があつてのことです。地域の皆様、「ご支援」ご協力をよろしく願います。

社団法人
芳賀町シルバー人材センター
事務局長 菅谷 敬子

みらいニュース



下請け班三年目を迎えて

下請け班は、セルプ・みらいが開所したの同時にスタートし、今年度で三年目を迎えました。現在は、順調に仕事が入り、下請け先も三ヶ所に増えました。主力の箱折りは、一日に仕上げる仕事の量も、初めは二〇〇箱(一パレット)がやっとだったのに、現在は六〇〇〜八〇〇箱(三〜四パレット)も折ることができるようになりました。当然、収入も一年目は、月平均一〇万円が一二十万円に伸びてきました。しかし、下請けという仕事の性質上頑張っても、収入を伸ばすには限界があります。仲間の給料もまだまだ全国平均一万円にも至っていません。そこで、今年度は「どうしたら高収入を上げられるだろう」と何回も生産会議を行い、「(株)鬼怒パッケージのきむらのかきもちの箱単価を、一〇円を一五円に、一五円を一七〜八円に上げてもらおう」ということになりました。下請け班の班長・副班長を中心に、箱単価上げの要請書を作成し、(株)鬼怒パッケージの担当の方々に交渉を試みました。果たして結果はいかに...!!

下請け班は、セルプ・みらいの授産事業を支えているという誇りを内に秘めながら、よりよい製品作りを目指し、今年度も頑張ります!



リサイクル部、今年度も頑張るぞ!!

リサイクル部は、毎週月・金の二回、主に日産上三川工場の寮に缶回収に行っています。回収はボランティアのお母さん方に助けられ支えられて、毎回五〇kg〜七〇kgの缶を換金しています。取り組み始めて二年、比較的障害の重い仲間たちもそれぞれに自覚と意欲が見られるようになりまし。みらいに直接缶を持つてきてくださった方も増え、一五年度は五二万七千円の収益になりました。ご協力くださった皆様本当にありがとうございました。リサイクル部、今年も頑張ります!!

セルプ・みらい後援会「みらいの会」並びに保護者会総会開かれる

去る四月一五日(木)の午前中に保護者会総会が、そして同日午後後援会「みらいの会」総会が開かれました。保護者会は、昨年度畑を作り、給食やお弁当の食材に貢献していただきました。今年度は更に、厨房のリクエストに応える形で、利用者と一緒に手入れをし、より美味しい野菜作りをしてくださることに協力しました。また、後援会活動にも積極的に協力していくことも計画されました。

後援会も、平成一五年度の事業報告・決算報告が行われ、平成一六年度事業計画・予算が審議されました。平成一六年度の主な活動として、会が主催するダンスパーティーやみらいフェスタの他、地域のイベントやフリーマーケットにも参加することを確認しました。保護者会も「みらいの会」も、セルプ・みらいを土台で支えてくださっていることに感謝し、共に活動していきたいと思えます。

第一回掘り出し物市、開催!!

ゴールデンウィーク初日の四月二九日、真岡ベイシア前で、後援会主催による掘り出し物市が行われました。テントを張って衣類をハンガーにかけ、雑貨品を並べて、さあ準備OK!待ち構えていたお客さんがやって来ました。忙しさの波が去ると、今度は客引き:拡声器を片手に元気な声で呼び込む大橋支援員。たて看板を持って歩きながら声をかけていたのは渡辺君、由紀さん。ベイシア前でチラシもまきました。この日は北陵高校のボランティアさんも四人来てくれ、楽しく元気いっぱい掘り出し物市になりました。会場を提供して下さった花村様、ボランティアの皆さん、ありがとうございます。G・W初日の行楽日和で、買い物客はどんな企画でやろうか作戦を練っていると。乞うご期待!!



僕たちのこと
もっと知ってほしい!

ボランティア大募集

けやき作業所では、作業・創作活動・GHなどで、利用者さんとの交流をして下さる方を大募集!

興味ある方は、まず連絡を!

けやき作業所
028-687-1040






こぶし作業所・後援会
ボランティア大募集!

1. 日曜作業所
2. 日常の作業の介助
3. キッチン・セルフ
4. フリーマーケットの準備

お待ちしています

お問い合わせ こぶし作業所
☎028 (662) 1911


休日を利用して

体験ボランティアしてみませんか?

○第2けやき・ライフサポートセンターは、なし畑に囲まれたのどかなととてもよいところですよ!

☆第2けやき作業所

☆県東ライフサポートセンター




ボランティア大募集

セルフみらい

箱折り、リサイクル作業
弁当配達のお手伝い
作業ボランティア...etc

☆仲間と一緒に
楽しい時間を過ごしましょう☆



社会福祉法人 **こぶしの会**

- 法人事務局 こぶし作業所 ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401
TEL 028 (662) 1911 FAX 028 (662) 1912
- 生活支援センター ☎320-8508 栃木県宇都宮市若草1-10-6とちぎ福祉プラザ内
TEL 028 (613) 5703
E-mail kobusi@chive.ocn.ne.jp
- キッチンセルフ ☎321-3235 栃木県宇都宮市鑑山町字東原146-7
TEL 028 (667) 5531
- こぶしのときわ荘 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244
TEL 028 (687) 1040 FAX 028 (677) 5789
E-mail keyaki@carrot.ocn.ne.jp
- けやき作業所 ☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532
TEL 028 (677) 0495 FAX 028 (687) 4818
- 第2けやき作業所 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2
TEL 028 (687) 0311 FAX 028 (687) 0325
- 県東ライフサポートセンター ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2
TEL 028 (677) 4430
- すずらんの家 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井178
TEL 028 (677) 2876
- けやきハイツ ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井1025
TEL 028 (677) 0776
- 第2けやきホーム ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井1025
TEL 028 (677) 0776
- セルフ・みらい ☎321-4363 栃木県真岡市亀山1043-23
TEL 0285 (81) 1155 FAX 0285 (81) 1177
E-mail selp-mirai@carrot.ocn.ne.jp

発行所 郵便番号 351-0053

東京都世田谷区砧六-二六-二一
特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価五〇円